



H-IIIBロケット7号機打ち上げの様子


 「小型回収カプセル」
電源・データ処理ボックス(左)
「LHPR技術実証システム」制御装置

H-IIIBロケット7号機／「こうのとりのり」7号機打ち上げ成功

9月23日、宇宙ステーション補給機「こうのとりのり」7号機(HTV7)を搭載したH-IIIBロケット7号機(H-IIIB-F7)が打ち上げられました。

HTV7には、当社が開発の一部を担当した「小型回収カプセル」「ループヒートパイプラジエータ(LHPR)技術実証システム」が搭載され、国際宇宙ステーション(ISS)へ向かいました。

「小型回収カプセル」は、日本が今まで有していなかったISSからの物資回収の技術実証に使用されます。当社は、「小型回収カプセル」の電源・データ処理ボックス等の開発を担当しました。電源・データ処理ボックスは熱、振動、加速度センサからの情報や誘導情報などの収集、パラシュート開傘を制御するガスバルブ駆動などを行います。

「LHPR技術実証システム」は、ISS日本実験棟の曝露空間において実施される排熱技術(将来の人工衛星の高効率排熱技術)実証の装置です。当社は、LHPR技術実証システムの電力制御や通信機能をつかさどる制御装置(LHPR-ELE)を開発しました。

明星電気はこれからも宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)


 福田政務官(中央)
当社高田社長(右から2番目)

防衛省 防衛大臣政務官 福田達夫様 本社ご視察

7月25日、防衛省防衛大臣政務官 福田達夫様が本社に来訪されました。防衛省関連機器の製造現場や試験設備を視察し、製品展示コーナーでは宇宙、気象防災関連分野など、当社の幅広い製品を見学いただきました。

気象分野では、当社がメーカーでありながら情報提供サービスである「超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKA」を行っていることに興味を持たれていました。

また宇宙関連事業については、「今後、衛星は小型化が進みデータを使って何ができるか?ということが、ビジネスの中心になっていく」などのご意見をいただきました。政務官のお話は大変参考になり、当社としても有意義な機会となりました。

(担当: 宇宙防衛事業部)


 気象センサーと雲粒子ゾンデHYVISを搭載したドローン(上)
雲粒子ゾンデHYVIS本体

「霧」の発生・消散メカニズムの解析にPOTEKA、HYVIS採用

当社は、一般財団法人日本気象協会様、京都大学防災研究所様、山口大学様と共同で行うドローンを使用した上空気象観測による、「霧」の発生・消散メカニズム解析に参加しています。この解析を通じ、気温や湿度、風向風速、霧粒子の鉛直分布の構造と変化を詳細に把握していきます。この解析が進むことにより、今回観測を行う大分自動車道をはじめとする国内各地での霧の発生・消散予測精度の向上が期待されます。

本共同研究において、地上気象観測地点にPOTEKA、上空の気象観測(ドローンに搭載)用として雲粒子ゾンデHYVISが採用されています。

明星電気は、観測機器の開発を通して、さまざまな気象現象の解析・予測精度向上に貢献していきます。

日本気象協会様ホームページ <https://www.jwa.or.jp/news/2018/09/post-001076.html>

(担当: 関西支店、気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。